

平成25年5月27日
東北地方整備局

平成25年度 都市景観大賞において、建築と子供たちネットワーク仙台（宮城県仙台市）が【景観教育・普及啓発部門】で「大賞」を受賞

都市景観大賞は、平成23年度から、公共的空間と建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、市民に十分に活用されている地区を対象にした【都市空間部門】と、小中学校における景観まちづくり教育、まち歩き、景観に関するセミナーなど、景観に関する教育、意識啓発、知識の普及等に取り組んでいる活動を対象にした【景観教育・普及啓発部門】の2つの部門で景観に関する優れた地区・活動に対し表彰を行っております。

この度、東北から【景観教育・普及啓発部門】で「建築と子供たちネットワーク仙台」（宮城県仙台市）が「大賞」に選定されました。

都市景観大賞は、平成23年度から【都市空間部門】と【景観教育・普及啓発部門】の2部門で実施され、大賞（国土交通大臣表彰）、優秀賞等が選定されています。

全国各地からの応募の中から、【都市空間部門】においては、「大賞」3地区、「優秀賞」2地区、「特別賞」2地区が、また、【景観教育・普及啓発部門】においては、「大賞」2団体、「優秀賞」2団体が選定されました。

なお、「大賞」（国土交通大臣賞）の表彰につきましては、6月14日（金）に「すまい・るホール（住宅金融支援機構内）」（東京都文京区後楽）開催される「まちづくりと景観を考える全国大会」において行われます。

別紙1 平成25年度都市景観大賞「都市空間部門」受賞地区の概要及び「景観教育・普及啓発部門」受賞団体の活動内容

別紙2 東北管内受賞地区履歴一覧（平成16年度～平成24年度）

※平成13年度から平成22年度までは「美しいまちなみ賞」として表彰

〈発表記者クラブ：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 電話 022-225-2171（代表）

建政部 都市調整官 脇坂 隆一（内6113）

計画・建設産業課長 片川 覚（内6121）

東北管内受賞概要

【景観教育・普及啓発部門】

「大賞」(国土交通大臣賞)

- 活動名：子どもが参画する歴史的建造物の景観再生プロジェクト -出会いから震災復興まで-
- 所在地：宮城県仙台市
- 応募者：建築と子供たちネットワーク仙台

■活動の概要：

仙台市において、建築と子供たちネットワーク仙台（建築・デザイン関係の専門家・行政職員を中心に結成された NPO）は、未来を担う子どもたちの創造力を培い、よりよい景観まちづくりへの意識の芽を育むための教育活動を実践するため、2001 年より仙台を南北に貫く旧奥州街道沿いの歴史的景観資源を保全し、子どもたちの教育に活用する取り組みを継続的に展開している。東日本大震災後は、震災で大きな被害を受けた「堤町まちかど博物館」や「旧丸木商店店蔵」を子どもたちの参画によって再生する活動を中心に取り組んでいる。修復にあたっては、長期にわたり築いてきたネットワークを駆使し、多様な団体と連携して行われた。

この震災復興の活動は、震災で少なからず傷ついてしまったみんなの心が元気になっていくことにもつながった。

また、これまでの継続的な活動が徐々に実を結び、市内の他の地域からも多くの子どもたちが参加するようになる等、仙台の歴史文化を学ぶ学習拠点として広がりを見せている。



職人さんにハンマーやタガネの使い方を教えてもらい、崩落した案内から運び出したレンガから土をはつきり取っている様子。



「修復した登り窯」：堤町まちかど博物館

子どもたちがデザインした“紋”が格子にはめ込まれ蔵を飾った。

